プロの集団　チーム碧山！

碧山だより

子どものやる気を育てます

１１月号
令和４年 11 月１日
西東京市立碧山小学校
http://www.nishitokyo.ed.jp/e-hekizan/index.html

地域は教材、地域は先生、地域は学校

校長　中嶋　太

地域に暮らす子どもにとって、身近な地域素材は生きた教材、身近に関わる方々は地域の先生、地域の環境は広域的な学校と言えましょう。バーチャル（仮想）が進む世の中だからこそ、現実を通じた実感は生きる基盤となるはずです。

３年生の社会科では、地域の生産活動について学びます。西東京市では、近郊農業が盛んで、特にキャベツは多摩地域でトップの生産を誇ります。地場産野菜を使った「めぐみちゃんメニュー事業」など、地産地消の取組も活発です。そこで、低学年の時にダイコンやトウモロコシの収穫でお世話になった都築農園に見学に行き、キャベツを中心とした野菜作りの秘密について学習していくこととしました。10 月 13 日(木)、３年２組で行った研究授業では、収穫した野菜がどこに運ばれ、わたしたちの食卓に届くのか調べました。子どもたちは、無人販売所の他、駅前の「まちテナ」や「ふれあいプラザ」などの直売所で多くの地元野菜が売られていることに興味と驚嘆を覚え、多様な反応を示しました。教師が事前に用意した多くの写真や動画資料をタブレット等で調べ、学びを深めていきました。

２年生では、10 月 20 日(木)の生活科の時間に町たんけんに行きました。行った場所は、郵便局や保育園、スポーツセンター、地域の様々な店舗など 12 の施設です。子どもたちは、あらかじめ考えていた質問を基に、地域の方の笑顔の秘密について尋ねました。町たんけんの引率にご協力くださった保護者の皆様、ありがとうございます。普段何気なく見ている地域の風景、出会っている地域の方が、視点をもって接すると特別な存在に思えてきます。

４年生では、10 月 28 日（金）の総合的な学習の時間に、地域にあるバリアフリー設備を調査しに行きました。４年生は、これまで車いす体験やアイマスク体験・高齢者体験を行い、障害者や高齢者等の困り感について学んできました。そして、こうした経験を踏まえて、様々な人の立場で地域環境を見直すこととしました。保護者の方のご支援の基に、保谷駅や東伏見駅、こもれびホールなどにある点字ブロックやスロープ、多目的トイレなどの様子をタブレットで撮影するなどして調べました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

「地域は人をつくり、人は地域をつくる」地域を学んだ子どもたちは、やがて地域を形成する推進者になるはずです。地域に学び、地域を大切にする心が育つことを願っています。

地域の直売所についての情報交換（３年）

保育園にインタビューするグループ（２年）